

ならけんりつみんぞくはくぶつかん やまとみんぞくこうえん
奈良県立民俗博物館・大和民俗公園

はくぶつかん&むかしのうち探検ワークシート【こたえ】

■「農村の四季」

- ① ①-C / ②-A / ③-D / ④-E / ⑤-B
 ② 米俵・フゴ・雪靴

■「川と人のかかわり」

- ③ A

■「地域のものづくり」

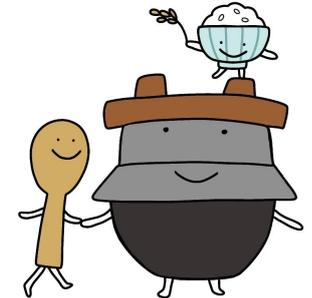
- ④ ①重ね桶 ②キンマ(「木馬」でも正解) ③薬研

■「昔の暮らし」

- ⑤ A : 黒電話(ダイヤル式電話機) / B : 炭火アイロン / C : 羽釜 / D : プッシュ式電話機
 E : 火のし / F : 電気炊飯器 / G : 磁石式電話機 / H : スチームアイロン
 (1) C→F (2) G→A→D (3) E→B→H

■「むかしのうち(古民家)」

- ⑥ (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
 ⑦ (1) かや・竹・わら・瓦・木・土・木の皮・石など (2) 土・竹・紙・木など
 (3) 土・木・畳(いぐさ)・竹など
 ⑧ _____
 ⑨ ①井戸 ②手桶 ③水がめ ④ひしゃく
 ⑩ _____



昔の暮らしコラム「かまどのおはなし」

みなさんの家の電気炊飯器はどれくらいの量のご飯を炊くことができますか？
 かまどでは「羽釜」と呼ばれる金属製の釜を使いますが、約30cmの大きさの羽釜で約30
 合(お茶碗約60杯分)のご飯が炊けます。また、複数の釜を使っていくつもの調理を同時
 におこなうことができます。ただ、火の番は欠かせませんでした。
 かまどは料理をするだけでなく家を「健康」に保つためにも大切な存在でもありました。
 かまどに火を入れた時に出た煙は「煙出し」と呼ばれる窓から外へ出ていきますが、自然と
 家の中に煙が行き渡ることで、動物や虫が住みつくのを防ぐ役割があったのです。